

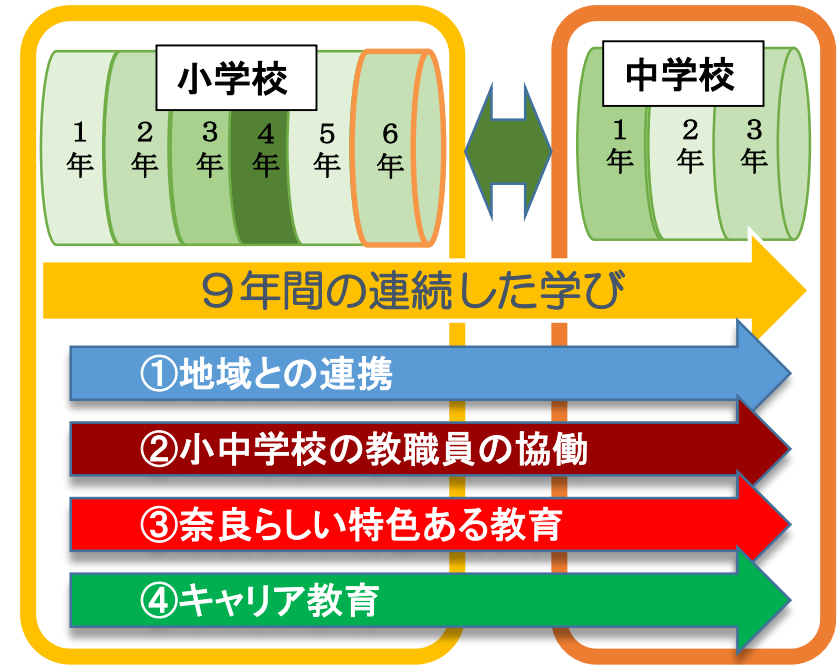
目的

9年間の連続した学びの中で“確かな学力”と“豊かな人間性”の育成を図る

歩み

- ・平成10年12月
「古都奈良の文化財」としてユネスコの世界遺産リストに登録
- ・平成16年3月
「世界遺産に学び、ともに歩むまち-なら」小中一貫教育特区認定
- ・平成17年4月
田原小中学校にて小中一貫教育実施（施設一体型）
- ・平成20年4月
小中一貫教育パイロット校 西・中・東部に拡大（連携型）
- ・平成23年4月
富雄第三小中学校開校（施設一体型）
- ・平成27年4月
全市立小中学校で小中一貫教育実施
- ・平成29年4月
月ヶ瀬小中学校開校（施設一体型）
- ・令和4年4月
ならやま小中学校開校（施設一体型）

4つの柱



①地域との連携

- 全ての中学校区（小・中学校もしくは中学校区にて）でCSを設置済
- 22年度には市独自の予算で「地域で決める学校予算事業」が開始。地域全体で子どもを育てる体制をつくり、子どもたちの教育活動の充実を図る取組

②小中学校の教職員の協働

- 中学校区ビジョンにて目標や取組の共有
- ①小中合同研修会や授業交流の実施 ②生徒指導や特別支援教育などの部会における綿密な情報交換 ③中学校への体験入学や児童・生徒交流会、小中合同の防災訓練といった教育活動の連続性を図る取組

③奈良らしい特色ある教育

- 総合「なら」…世界遺産学習や地域学習を通して「なら」で学んだことを誇らしげに語る子どもを育成
- 外国語科…小学校1年生からの外国語教育
- ICTを活用した情報活用能力の育成…その時代に必要とされる新しい情報活用能力をもつ子どもの育成

④キャリア教育

- 『夢と誇りを持ち、社会をたくましく生き抜く力の育成』
- 義務教育9年間で子どもたちにつける力を中学校区で明確にし、子どもの発達に合わせた、系統的、継続的な取組の推進